



完成現場

工事名：平成21年度 天竜川水系 大河原落合地区護岸工事
 工期：平成22年3月25日～平成22年11月12日



お世話になりました



現場代理人 小島 大洋
 監理技術者 板山 浩

地域の皆様のご協力
 とご理解により、工事を
 無事に完成させること
 ができました

ありがとうございました

大協建設株式会社
 TAIKYO

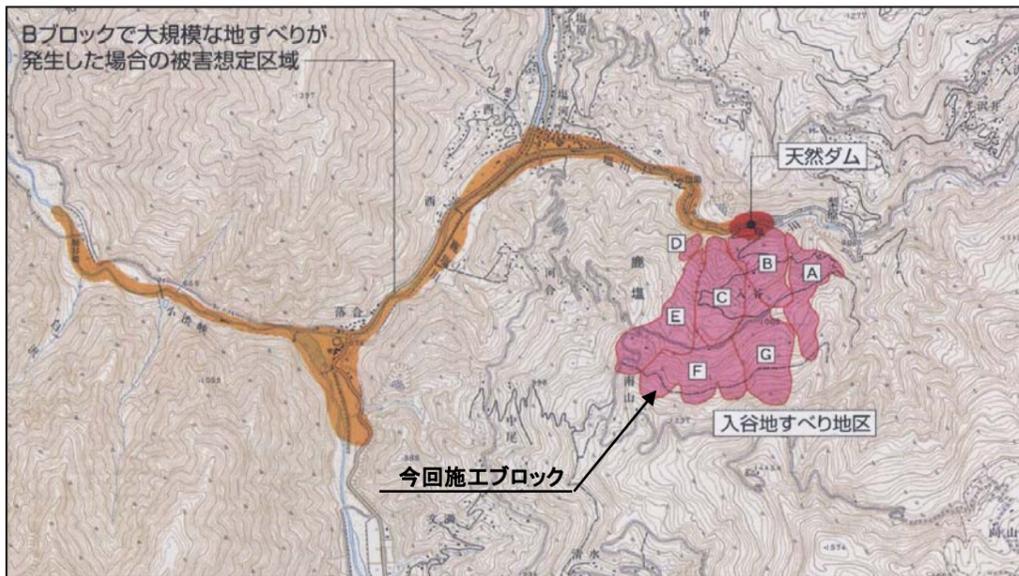
●入谷地区の地すべりについて

入谷地すべり地区は天竜川水系小渋川上流の鹿塩川支川塩川の左岸に位置しており、地すべり区域は東西方向約1200m、標高差約500m、面積は約1300haに及び、移動ブロックは大きく7つのブロックに分割されています。下流には大鹿村の中心大河原や鹿塩の集落が控えています。

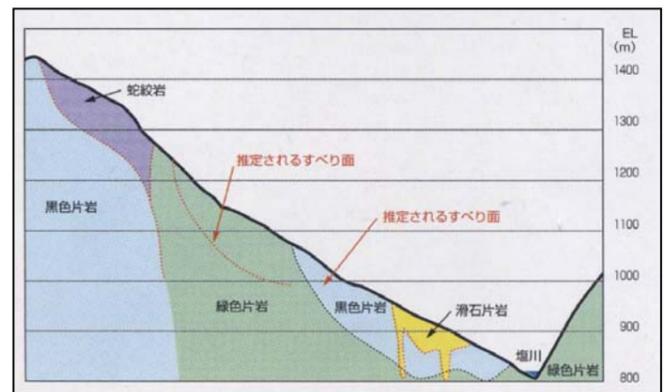
当地区は古くから地すべり災害に見舞われてきました。記録の中で最も古いものでは、1698年（元禄11年）に大規模な「蛇ぬけ」があったと記されています。最近では平成4年春に融雪出水により地すべり活動が活性化し、人家の倒壊、道路や擁壁のクラックが発生しました。

入谷地すべり地区の地質構造は、表層の地すべり移動層として主に破碎された緑色岩類が厚さ約30mに渡って堆積、不動層として黒色・緑色片岩が広がっており、間にすべり面を形成する粘性化した蛇紋岩や滑石片岩等をはさんでいます。

入谷地区地形図



模式断面図



防止区域内及び想定被害区域内状況（平成14年調査）

世帯 (世帯)	想定被害区域内の状況			想定 被害額 (億円)
	耕地 (ha)	幹線道路 (路線)	公共施設等 (箇所)	
91	27.2	2	10	221

●今回施工している地すべり対策工事について

地すべり対策工事には大きく分けて抑制工と抑止工の2種類があります。抑制工とは、地下水排除工・排土工・押さえ盛土工などの自然条件を変化させることにより、地すべり運動を停止させたり緩和させる方法です。一方の抑止工とは、杭工・アンカー工・擁壁工などの地すべり運動の一部または全部を直接押さえようとする方法です。

今回は、抑制工の工法の一つである地下水排除工（集水井工・横ボーリング工）を行っています。

小渋川砂防出張所管内の工事進捗一覧

工事名	請負会社名	工期	進捗率
平成21年度 天竜川水系塩川入谷えん堤補修工事	大協建設(株)	H21.9.18 ~ H22.12.16	89.9%
平成21年度 天竜川水系釜沢砂防えん堤補強工事	勝間田建設(株)	H21.10.1 ~ H23.3.18	35.1%
平成21年度 天竜川水系小渋川三正坊床固工補修工事	(株)早野組 中部支店	H22.3.25 ~ H23.2.21	52.8%
平成22年度 天竜川水系七釜第2砂防えん堤工事用道路外1件工事	シブキヤ建設(株)	H22.5.19 ~ H23.3.1	58.6%
平成22年度 天竜川水系大河原床固工群護岸工事	大協建設(株)	H22.9.8 ~ H23.3.24	8.9%
平成22年度 天竜川水系入谷地すべりF3ブロック対策工事	勝間田建設(株)	H22.9.29 ~ H23.3.24	16.3%
平成22年度 天竜川水系入谷地すべりF1ブロック対策工事	大協建設(株)	H22.9.30 ~ H23.3.24	12.6%